



カタカタ通信



第67号

「つくして何？」

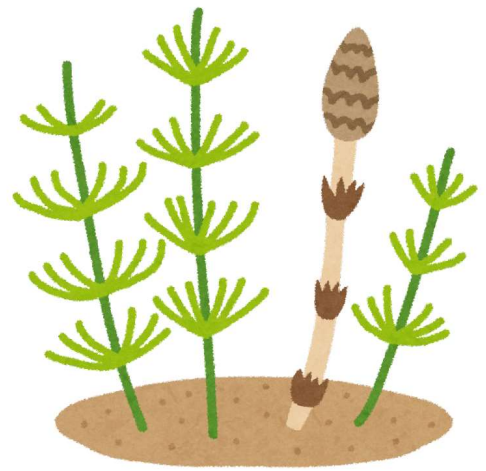
2023年3月27日

3月下旬、日中は厚手の上着が必要ないほど暖かくなってきました。天空の里周辺では、ツクシがによきによきと成長し「春だなあ」なんてつぶやきたくなる陽気です。そんなツクシを見ていたとき、急にツクシって何なんだ？という疑問が浮かんできました。そこで、意外と知らないツクシの正体について、施設内にある図書コーナーとインターネットで調べてみました。

ツクシとは、スギナというシダ植物の孢子茎のことだそうです。ツクシとスギナは地面の下でつながっています。ツクシが成長するとスギナになるのではなく、ツクシは孢子を飛ばし役目を終わると枯れてしまいます。飛び立った孢子は、地面に落ちると芽が出て、条件が良ければスギナへと育ちます。

天空の里近くに生えているツクシは、タイルのような六角形の孢子囊床が開いた状態で、すでに孢子放出後のようです。

なんとなく気になって調べてみましたが、意外な発見に出会えました。



ツクシとスギナ



孢子を放出した後のツクシ